

情報公開書 version3 2020/04/28

- (1) **研究名:** 前立腺癌検出に関わる Weighted Diffusion Subtraction (WDS) の有用性の検討
- (2) **研究の目的:** 前立腺癌の画像診断には MRI が有用とされており、その評価基準として Prostate Imaging -Reporting and Data System version (PI-RADS) が用いられています。欧米をはじめ泌尿器科医の間でも広く受け入れられているおり、PI-RADS に基づく癌の検出、スクリーニング、さまざまな臨床的リスクなどのデータ集積が進んでいる一方で、評価が主観的であり、評価者によるばらつきが多いことなどが問題視されています。そこで、見かけの拡散係数(apparent diffusion coefficient : ADC)が閾値以下に低下している領域をサブトラクションにより明瞭に描出させる新たな表示法、Weighted Diffusion Subtraction (WDS)を用いることで、前立腺癌の診断能が改善されるかを検討します。
- (3) **研究期間:** 2015 年 10 月 1 日から 2019 年 10 月 31 日までに、通常診療として治療開始前(術前 6 か月間)の前立腺 MRI 検査を京都大学医学部附属病院放射線部で施行された患者さんを対象とします。研究期間は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の許可日から 3 年間で予定しています。
- (4) **倫理委員会の許可について:** 本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の審査を受け、研究機関長の許可を得て行っております。
- (5) **研究機関:** 京都大学医学部附属病院
研究責任者: 先制医療・生活習慣病研究センター 特定教授 磯田裕義
- (6) **利用する情報の項目:** 患者さんの放射線画像データ (CT・MRI・FDG-PET/CT) および関連する臨床データ (年齢・性別、血液検査、病理所見等) を個人のプライバシーなどに配慮し、匿名化した上で後ろ向きに観察します。専門の学会や学術雑誌に発表されることもあります。個人が同意できるような形での発表や、個人情報 (氏名など) が外部に公表されることは一切ありません。
- (7) **研究拒否:** 研究対象とならないことを希望される際には、以下の窓口で受け付け、対象から削除します。
- (8) **研究計画書および研究の方法に関する資料の入手・閲覧について:** 本研究の結果がまとまり発表できるようになった段階で、希望された場合には本研究に関する資料を、他の研究対象者の個人情報保護に支障がない範囲で入手・閲覧をすることが可能です。
- (9) **研究資金・利益相反:** この研究は、運営費交付金により実施します。特定の企業からの資金提供は受けていません。利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査・管理しています。
- (10) **問い合わせ先:**
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54
京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座(画像診断学・核医学)

TEL:075-751-3760 電子メール: nmdioffice@kuhp.kyoto-u.ac.jp

また、病院の相談窓口は下記の通りです。

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

TEL:075-751-4748 電子メール: ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp